

# 授業時数の弾力化に係るモデル校事業

## 背景

- 中教審答申において、教科横断的な視点に立った資質・能力の育成や探究的な学習の時間の充実等に資するようカリキュラム・マネジメントに係る学校裁量の幅の拡大が提言
- 答申の一環として、令和3年6月に授業時数特例校制度（※）の創設の発表
- GIGAスクール構想に伴う、一人一台端末の整備の完了

授業時数特例校制度（※）とは

学年ごとに定められた各教科等の授業時数について、**1割を上限として標準授業時数を下回って**教育課程を編成することを特例的に認め、下回ったことによって生じた授業時数を**別の教科等の授業時数に上乘せし**、教科横断的な視点に立った資質・能力の育成や探究的な学習活動の充実を資する教育課程の一層の推進を図る制度

## 現状・課題

- 教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成等に資する教育課程が組みにくい → 学校全体での教科横断的な実践に課題
- 一人一台端末が整備されたものの、その活用が不十分 → 各教科を通じた情報活用能力の育成、各教科における端末の活用に課題

令和3年6月に国から示された「授業時数特例校制度の創設について」を踏まえ、授業時数について特別な教育課程の編成を認める事業を実施

## 事業内容

### ○概要

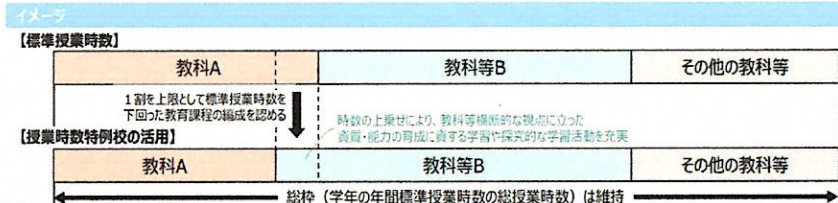
小中学校において、国の授業時数特例校制度と連携し、教科等ごとの授業時数の配分について一定の弾力化による特別な教育課程の編成を認めることをとおして、学習の基盤となる資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等）や現代的な諸課題（伝統文化教育、環境教育等）に対応して求められる資質・能力の学習内容を充実させ、より効果的な教育を開発・実践する。

### ○対象

草加市立瀬崎小学校、新座市立第二中学校、小川町立小川小学校、小川町立東中学校  
深谷市立八基小学校、熊谷市立三尻中学校、久喜市立久喜小学校、蓮田市立黒浜中学校  
（小・中学校は各事務所より各1校、うち1校以上は情報活用能力の育成を目的とする。）

### ○事業内容

- ・学校への研究委託（主な委託内容）
- ✓ 充実する学習内容の明確化
- ✓ 授業時数を弾力化した特別な教育課程の編成、保護者・地域への広報
- ✓ 各教科等での実践・・・研究授業の実施
- ✓ 県内への普及・・・研究発表会の実施、報告書・HPによる県内への普及



## 事業計画

- R4年度 専門家による講義、先進校視察、特別な教育課程の編成
  - R5年度 特別な教育課程の実施、授業公開、研究発表、報告書の提出
- ※1年前倒しでの実施も可能とする。

## 期待される効果

- 小・中学校における教科横断的な視点に立った資質・能力の育成や探究的な学習活動の充実
- 情報活用能力の育成に必要なICT活用の充実
- 教育課程の精選による、児童生徒、教師の負担の軽減